



令和6年10月4日(決算/地域協働局)

神戸市会議員 (須磨区) せい い ち **51** 才
むらの誠一
当選 **6** 回

「人は人の為に尽すを以って本分とすべし」

曾祖父 村野山人 (旧神戸村野工業高等学校創立者)

の遺志を継ぎ政治家を志す

自民党

第113代 神戸市会副議長

所属会派 新しい自民党神戸市会議員団

所属委員会 建設防災委員会 委員

市民相談受付中!

いつでも気軽にご相談ください

TEL (078) 739-8889

新しい自民党神戸市会議員団 須磨区第1支部
神戸市会議員 むらの誠一事務所
〒654-0053

神戸市須磨区天神町3-2-45

FAX (078) 739-8887

mail@murano.gr.jp



新しい北須磨支所を実現!

広くなり快適、本区に行かなくても支所で全ての手続きが可能に!

質 むらの議員 (令和2年9月28日/本会議/一般質問)

須磨区役所の行政機能は本区と支所があります。人口は本区で約7万2,000人、支所は約8万8,000人となっており、支所管内の方が約1万6,000人、人口が多くなっております。

コロナ禍前に、支所を視察させて頂きましたが、狭い2つのフロアを民間ビルから間借りし、子育て関連業務は支所から離れたとても分かりにくい地下鉄名谷駅の2階で業務をしておられました。現状の支所では、子供を抱きながら窓口で手続きをされている方もおり、気の毒に思いました。また、その時フロアの空気がとても乾燥しておりましたが、ビル全体で空調を管理していることから区役所業務で間借りしている2つのフロアだけで湿度の調整はできないとの事でした。

そういったことから、早急にこの狭い北須磨支所を抜本的に考えて頂きたく、間借りではなく自前のビルでしっかりと行政機能を、市民に提供できるようなものをつくって頂きたいと思いますがいかがでしょうか。



答 久元市長

北須磨支所は、私も何回も見に行っておりますが、現状で良いとは思いません。執務室も非常に狭い、窓口も狭い、さらに乳幼児健診のときに大変ご不便をおかけしているということも承知しております。できるだけ早期に、駅に近いところで北須磨支所の整備を考えて参ります。

市バスと民間バスの(無料)乗り継ぎを実現!

R6年10月1日から市バスと神姫バスの乗り継ぎが可能に!

質 むらの議員 (令和5年5月18日/都市交通委員会)

現在、市バスで実施しているシームレス化(乗継割引制度)を民間バス(神姫バス)へも適用する事は、市民の期待が非常に高く、私の選挙公約でもあるわけですが、いつ実現できるのか、現在の状況をお伺いします。

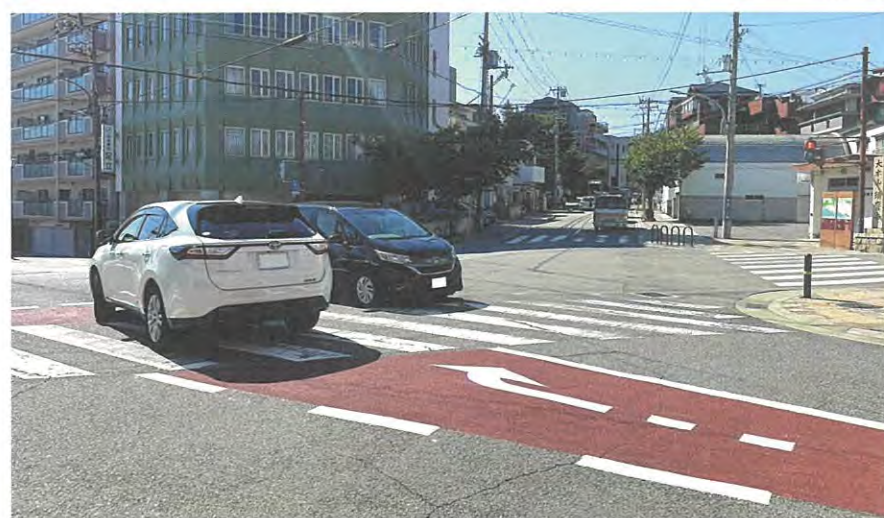
答 交通局副局長

神戸市バスと民間バスとのシームレス化は、令和6年度中を目指しております。市バスのシームレス化、乗継割引は、お客様にとって大変便利でお得な制度であります。一方、民間バス事業者側にとりましては、システム改修の投資、導入後の割引により減収となります。

神姫バスとは、市バスとの共同運行、定期券の共通化というものを交通局と連携しておりまして、市バスで導入している乗継割引を神姫バスでも同じように使って頂けるようになり、市民の利便性は大きく向上すると考えております。

須磨寺交番前/交差点に誘導線を実現!

渋滞緩和のため右折待ちの誘導線を路面に表示!



南須磨/2号線より南の地域

南須磨地域福祉センターの「離れ」機能を実現!?

質 むらの議員 (令和6年10月4日/決算/地域協働局)

南須磨(2号線南側)の地域課題として、南須磨地域福祉センターまでかなりの距離があり、高齢者などが気軽に喫茶や食事会に参加することが出来ないことから、以前より地域福祉センターの「離れ」のような施設を2号線より南の地域に要望して参りましたが、この度、地域協働局から地域福祉センター機能を持つ施設を考えて頂けると聞いておりますが、どのようなものを考えているのかお伺いします。

答 地域協働局長

当該地域には外浜町、小寺町などの市営住宅の集会施設がございまして、以前から周辺住民には開放しております。その集会施設を活用して、南須磨ふれあいのまちづくり協議会と地域活動の支援を区役所と一緒にいき、集会施設を地域活動の拠点にしていけるように調整しているところでございます。



車地区/ミクちゃんガイヤ前に注意喚起灯を実現!

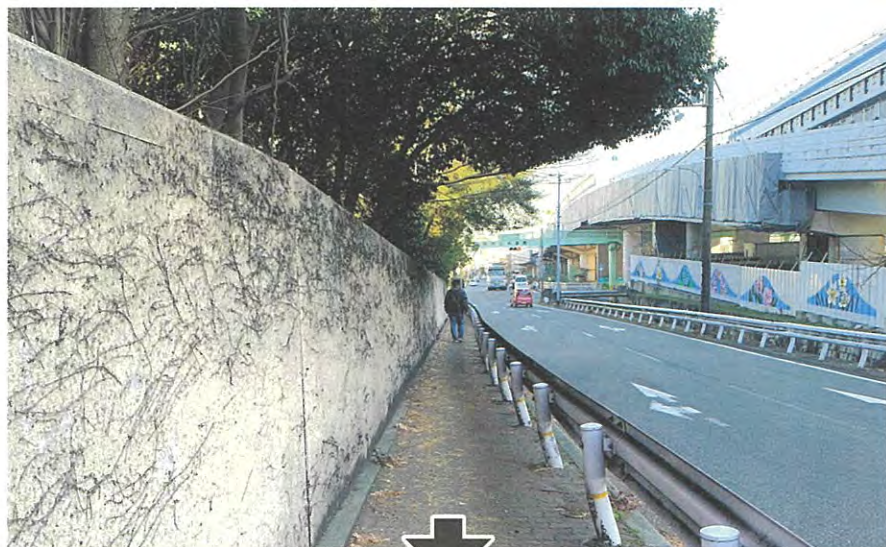
危険な横断歩道に「光の点滅で知らせる注意喚起灯」を設置



地域の方々と信号機設置の要望書と署名簿を須磨警察署長へ手交(2024.6.12)

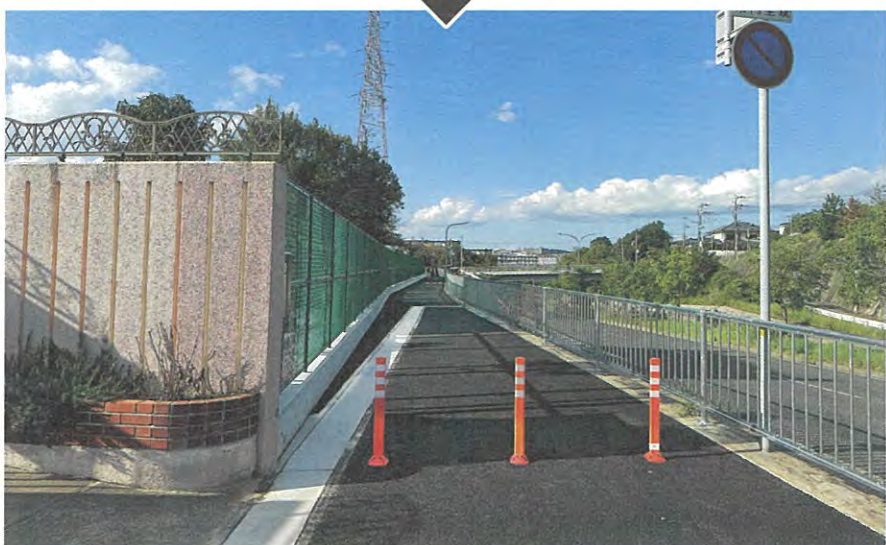
須磨離宮公園(植物園)よこ!

長年の地域課題だった狭い歩道の拡幅を実現!



友が丘中学校/校門前

長年の地域課題だった狭い歩道の拡幅を実現!



神戸市会議員 岡田ゆうじ



◀コチラから
も予約可
[https://forms.gle/
EWELCSB7coaF8mwq5](https://forms.gle/EWELCSB7coaF8mwq5)

無料法律市政相談会

とき 11月17日(日) 午後1時半～4時半

ところ 垂水区文化センター多目的ホール (レバンテ2番館3階)

日々の生活の中でのお困り事、行政や地域の課題、教育に関する問題、経営、相続、遺言、成年後見、離婚、DV、借金、交通事故、損害賠償、民事事件、登記、税務会計、開業、知財、ご近所・境界トラブル、住まい・建築などあらゆる問題について、プロの専門家が無料でご相談に応じます。



生活 行政 地域	経営 中小企業 知財	訴訟 法律全般	不動産登記 成年後見	税務 開業	税務 会計	遺言 相続	分筆 境界	住宅 建築
岡田ゆうじ 神戸市会議員	西口 竜司 弁護士・税理士 中小企業診断士	小田 紗織 弁護士	阿部 太良 司法書士	三原 清之 税理士	善國 高豊 税理士	田村 実貴雄 特定行政書士	三嶋 裕之 土地家屋調査士	南 俊治 一級建築士 宅地建物取引士

※ 予約なしでも参加可能ですが、予約の方を優先しますので、裏面の用紙やフォーム等からご予約下さい。

無 料 法 律 市 政 相 談 会

参 加 ご 予 約 シ ー ト

- ・ご希望の時間帯、連絡先、ご相談内容等を記載の上、下記宛先までお送り下さい。追って予約確定時間等をご連絡いたします。
- ・当日、このシートをお持ち下さい。



コチラからも
予約可

<https://forms.gle/EWELCSB7coaF8mwq5>

日時：11月17日(日) 午後1時半～4時半

☐第1希望 時 分～ ☐第2希望 時 分～

(フリガナ) お 名 前			
ご 住 所	〒		
生年月日	年	月	日
TEL () -	FAX () -		
メールアドレス	@		
ご相談されたい内容（分かる範囲で詳しく）			

※個人情報保護法の定めに従い、個人情報については適正に保護および管理を行います。ご本人の同意がない限りは第三者に提供いたしません。

神戸市会議員 岡田ゆうじ 事務所

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂3丁目18-20 TEL：090-9259-1555

FAX番号 **078-330-2335**

(メールでのご予約は mail@okadayuji.net まで)

神戸市会議員

市政報告

岡田

ゆうじ



神戸市会本会議

発行：新しい自民党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町 6-5-1 TEL090-9259-1555

2024.11

No.59

地震対策を急げ

多くの住民や学生にも利用されているポートライナーや六甲アイランド線。しかし、大規模地震等が発災した際の耐震能力に関し、わが会派の村野誠一議員（須磨区）が質問したところ、市当局は、**駅部や橋梁等に耐震補強未着手区間が多数存在し、「絶対大丈夫なのかどうかと言われますとちょっとそここのところは…」**との答弁を行いました。

南海トラフ地震の発生確率は政府試算で今後10年以内に30%とされ、宮崎県日向灘沖地震によってその確率がさらに高まっている中で、将来に無限の可能性のある子供たち、学生も通学に多く利用している公共鉄道に「もしも」のことがあれば、取り返しがつきません。

岡田ゆうじ議員からは、県は耐震基準に満たないと判明した県民会館の即時閉鎖を決定しているのに比べ、神戸市の対応の遅さ、危機管理意識の低さは問題であり、市内の公共施設全体で早急な耐震補強・検査を行うべきと主張。**「絶対大丈夫とは言えない」耐震補強「未着手」の箇所**は、想定される南海トラフ巨大地震、すなわちマグニチュード9クラスの地震に耐え得るのか、

ポートライナー、六甲ライナーが運行中に南海トラフ巨大地震が起こった場合の被害の想定などが質され、早期の対応が求められました。

市当局からは、**未着手の耐震補強区間の「耐震設計」を早期に行い、優先順位の高い区間から着手すると共に、ポートライナー・六甲ライナー両線の耐震化事業完了について、「最大限の前倒し」**を図る意向が表明されました。

市民の安全を確保する上で、更なる迅速な対応が求められます。徹底した地震対策の推進を、議会の場で強く追求して参ります。



わが会派の指摘により「耐震補強未着手」の箇所が多数判明した神戸新交通ポートライナー

市営公共鉄道等の耐震能力について

○委員（岡田ゆうじ） わが会派の村野議員より、ポートアイランド線、六甲アイランド線等の公共交通機関の駅部・橋梁・橋脚・橋桁等について大規模地震等が発災した際の耐震能力について質疑を行ったところ、当局からは、「阪神・淡路を経験した上で、**災害復旧というような形で壊れたものを直して使っている**ので、**絶対大丈夫なのかどうかと言われますとちょっとそこところは…**」との答弁であった。

政府の試算では、南海トラフ地震が今後10年以内に発生する可能性は30%とされており、そんな中で、「絶対大丈夫とは言えない」橋脚等の上を多くの乗客を乗せてポートライナー等が走っており、その耐震工事等についても、「**少し時間がかかって2031年頃までには準備を完了したい**」との答弁を行う当局の危機管理意識を疑う。

ポートライナーに限らず、市内の公共施設、公共交通機関、公共インフラ等、**多くの市民が利用するにもかかわらず耐震補強が十分でないものがまだまだ市内に数多く存在しているのではないか。**

「絶対大丈夫とは言えない」耐震補強「未着手」の箇所は、想定される南海トラフ巨大地震、すなわちマグニチュード9クラスの地震に耐え得るのか。ポートライナー、六甲ライナーが運行中に南海トラフ巨大地震が起きた場合、その被害の想定はどれくらいなのか。今後の対応は。

岡田ゆうじ

○今西副市長 現在、耐震補強未着手の区間は、ポートライナー及び六甲ライナーの駅舎区間、躯体と震災時に橋梁の被害が比較的少なかった六甲アイランドラインの軌道部となっている。

阪神・淡路大震災を経験した神戸市にとって、南海トラフ地震等の大規模地震に備えて耐震化を早急に完了させることは重要と考えている。今後は、**耐震補強未着手区間の耐震設計を早期に行い、優先順位の高い区間から着手するなど効果的に耐震化を進めてまいりたい。事業完了年度についても、最大限の前倒しを図ってまいりたい。**

今西正男
副市長

実現

耐震補強未着手区間の一斉点検（耐震設計）



【耐震補強未着手箇所】

＜ポートライナー＞三宮駅、みなとじま駅、南公園駅、中埠頭駅、北埠頭駅
＜六甲ライナー＞住吉駅、南魚崎駅、アイランド北口駅からマリンパーク駅に至る区間

【対応】 耐震補強未着手区間の一斉耐震設計⇒「最大限の前倒し」

（「耐震設計」＝地震などの自然災害に対する安全性を確保するために行なう解析、計算、実験、設計検証等の総称）

震災の教訓を活かした安心安全のまちづくり！

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20
TEL : 090-9259-1555 / FAX : 078-330-2335

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayu.ji.net
www.okadayu.ji.net



神戸市会議員

市政報告

岡田 ゆうじ



神戸市会本会議

発行：新しい自民党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL090-9259-1555

2024.12

No.60

豊かな海づくり

『海と山が育む都市・神戸の実現』—令和5年度決算の審議において、下水道を所管する建設局の資料の冒頭に、こう記載がありました。他の都市にはない、海と山の存在は神戸の基盤であり、まさに究極の社会資源・インフラといっても過言ではありません。しかしながら、これらの自然資源は放置してはその価値を維持することができません。決算審議の中で「豊かな海づくり」に向けた取り組みの重要性について質疑をいたしました。

現在、瀬戸内海ではこれまでにないほどの貧栄養化が進行しており、ノリの生産量やイカナゴの漁獲量が極端に減少しています。この問題に対応するため、瀬戸内海環境保全特別措置法（瀬戸内法）が改正され、県内の各浄化センターでは栄養塩を増加させる運転が行われています。

神戸市においても、垂水処理場が唯一適用除外を受け、2016年2月から冬季に栄養塩類の放流量を増やす栄養塩管理運転を開始し、さらに本年度から栄養塩管理運転を通年化するなど、積極的な取り組みを行っています。

しかし抜本的な改善には至っていないのが現状であり、やはり栄養塩を化学薬品等も交えて徹底的に除去してしまう「高度処理」を停止する必要があります。

岡田ゆうじ議員は、豊かな海を育むためには、海域に栄養塩をより多く提供し、海の生態系が健全に生育する環境を整える重要性和母なる海・瀬戸内海の環境改善を訴え、それを受けて久元市長からは最短期間で「高度処理を停止する」方針が表明されました。豊かな海づくりに向けて更に励んで参ります。



季節の到来を知らせるイカナゴ漁とそれに群がる大量のカモメ

豊かな海づくりに向けた取り組みについて

○委員（岡田ゆうじ） 今や瀬戸内海は史上例のない貧栄養価が進み、ノリの生産量やイカナゴの漁獲量は極端に減少をしています。そのため瀬戸内法が改正され、県内各浄化センターでは水質汚濁防止法の適用除外を受け栄養塩増加運転を行っています。神戸市で唯一適用除外を受けた垂水処理場においても、既に加古川下流浄化センターが県管理下で実施しているのとおり2次処理での増加運転に移行するなど、**高度処理の停止も含めた見直しが必要**であると考えます。

貧栄養化からの脱却は、漁業からも海の生物からも待ったなしの状態で、県栄養塩管理計画にも総量規制の適用除外として、増加措置の必要性が明示されているところからも、**早急な高度処理の見直し**が、**漁業をはじめ水産業界の関係者の多くから求められている**ところであります。今後の具体的なスケジュール等について、お伺いいたします。



岡田ゆうじ

○久元市長 下水処理場の放流水は、水質汚濁防止法と下水道法に定められる基準を遵守する必要がある、このうち下水道法に基づき「流総計画」の基準を遵守する必要があります。

大阪湾の流総計画は、現行計画の目標年次が2025年でありますことから、次期計画の基本方針が今年の3月に国から示されたところです。この基本方針では、現行計画よりも下水処理場の整備目標となる処理水質が大きく緩和されるとともに、栄養塩類管理運転も可能とする内容となりましたことから、**垂水処理場の高度処理設備を停止**することといたします。

この停止にあたりましては、下水道法に基づく手続きといたしまして、2025年度下半期に県の大版流総計画が定まった後に市の事業計画の変更が必要となります。

関係機関と協議・調整の上工事を行い、意見公募や縦覧期間を設けた後に国へ提出する必要があるとしまして、半年程度の期間を要します。**速やかに対応ができるよう**関係機関と協議を進めてまいりたいと存じます。



久元喜造
市長

実現

垂水処理場の高度処理設備の停止



垂水処理場

2026年度上半期 用途に

垂水処理場**高度処理設備の停止**

⇒イカナゴや水産生物の生息に必要不可欠な
窒素・リン等栄養塩を海域に補充放出



母なる海の豊かさを子や孫の世代に引き継ごう

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20
TEL: 090-9259-1555 / FAX: 078-330-2335

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayuji.net
www.okadayuji.net



神戸市会議員

市政報告

岡田 ゆうじ

神戸市会決算特別委員会

発行：新しい自民党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町 6-5-1 TEL090-9259-1555

2025. 1

No.61

狭あい道路の解消

神戸市会議員

岡田
ゆうじ

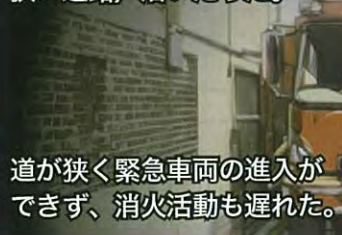
マンガ de KOBE

No.005

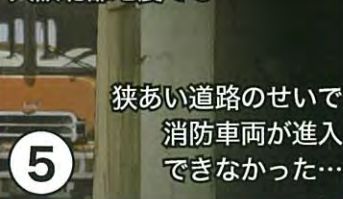
狭あい道路の解消



阪神・淡路大震災で
起こった火災は
ほとんどが「狭あい道路」
(幅が4メートルに満たない
狭い道路) 沿いだった。



2016年12月の
新潟県糸魚川大規模火災
2017年8月の
築地場外市場火災
2018年6月の
大阪北部地震でも



鎮火ー



自然災害をなくすことは
できませんが
「減災」はできます!



狭あい道路の解消

「山のまち」神戸には「狭あい道路」が市内の至るところに散在。しかし地震や火事の際に消防車が進入できない、道路が簡単にふさがれ避難が出来なくなる、救急車やごみ収集車も入れない、など数多くの問題があります。



神戸市は国の
「狭あい道路整備等
促進事業」に
参加していないため
補助金等が一切
受けられません



早期参加と
神戸の狭あい道路解消を
更に訴えて参ります!

神戸は歴史ある都市であり、戦前から形成された住宅地が数多く存在します。これらの地域では、当時の建築基準や都市計画の規制が緩く、現在の「**道路幅員4メートル以上**」の基準を満たさない道路（「狭あい道路」）が数多く残されています。

また、神戸は六甲山と瀬戸内海に挟まれ、限られた土地に都市計画を展開せざるを得なかったため、一部地域で**極端に狭い路地が形成されています**。坂道や台地には地形に沿った細い道路が多く作られ、これら狭あい道路の展開が、時として市民生活の大きな課題にもなっています。

阪神・淡路大震災でも、この狭あい道路が救助活動の妨げになる問題が浮き彫りになりました。しかし神戸では、震災後も抜本的な狭あい道路の解消は進んでいません。

狭あい道路に接する敷地で新築・改築を行う場合、道路中心から2メートル後退することが義務づけられています。国土交通省はこうした工事に対し、地方自治体と連携し、「**狭あい道路整備等促進事業**」などの補助金を設けており、先行事例である**愛知県岡崎市を筆頭に、全国各地の自治体に推奨していますが**、神戸市では、補助金受給額と同等の市負担が生じることを理由に、参加を見送っています。

そのため**神戸市内では、狭あい道路解消に際し、国の補助金などの財政支援が受けられず、整備が進んでいないだけでなく、防犯や防災の観点から問題視される老朽化した空き家が、日増しに増えて来ています**。

狭あい道路は火災や地震の際、消防車や救急車といった緊急車両が通行できず、迅速な対応が困難になるなど、災害時に大きなリスクとなり、住民の避難や救助活動を妨げる危険性があります。平时にゴミ収集車が入れない地域もあり、更には車両同士のすれ違いができず、歩行者との接触事故も発生しやすく、歩行者の安全を確保する歩道がないことも多いため、**特に子どもや高齢者が危険にさらされます**。一方で狭あい道路を解消すること

で土地の有効活用が進み、再開発や新しいインフラ整備が可能になるケースもあります。

狭あい道路の解消は、災害に強い地域づくりのためだけでなく、住民の生活の質を向上させ、持続可能な都市を実現するためにも不可欠な施策です。

今後も議会の一員として、市に対し、**狭あい道路整備等促進事業への早期参加**など、狭あい道路の解消を迫ってまいります。



緊急車両の進入が困難な狭あい道路
(岡崎市HP)



解消には道路の中心から2mの幅で用地を道路として整備することが必要（岡崎市HP）



誰もが安心して暮らせる神戸のまちづくりを推進！

神戸市会議員 区 岡田ゆうじ

事務所 〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20
TEL : 090-9259-1555 / FAX : 078-330-2335

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayuji.net
www.okadayuji.net





神戸市会本会議

神戸市会議員

市政報告

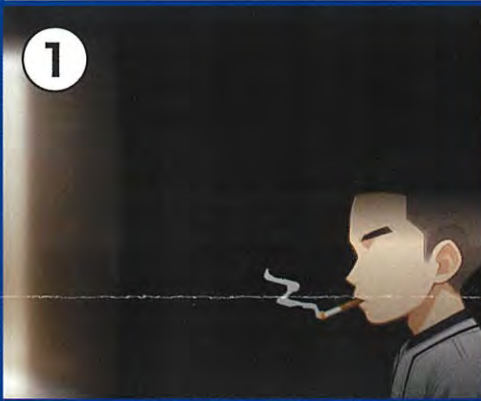
岡田 ゆうじ

発行：新しい自民党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町 6-5-1 TEL090-9259-1555

2025. 3

No.62

部活動がなくなる？



1



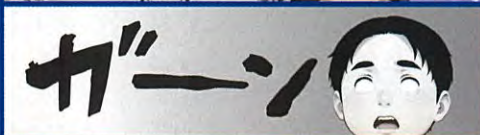
4

お前ら大人が
俺達から部活動を！
野球部を奪ったんだぞ！
グレて当然だ！



2

タモン君！
なんでタバコなんか！



ガーン



5

タモン君
それは違うよ

何っ？



3

うるせえ はなせ！
ほっとけよ
俺の勝手だろ！

ほっとけ
ませんよ！
野球少年だった
タモン君が
どうして！？



6

神戸市は部活動を
廃止しません！
「コベカツ」で
部活動を再生させます！

コベ...カツ？
トンカツ？



神戸市の新しい部活動のかたち

7 コベカツとは

やりたいことに、きっと出会う

KOBE♦KATSU

少子化・生徒減少の中、部活動の
自然消滅が続いています。自分の学
校に望む部活がない生徒が増える
中、行政と地域が連携し、学校に代
わる「受け皿」を用意することで、
子ども達の選択肢を増やし、部
活動など放課後活動を存
続させる試み、それが
「コベカツ」です



8

声出して
いこーぜ！

指導料・交通費
などの「コスト」の問題や
過疎地での「受け皿」確保など
解決すべき課題は
まだまだ沢山あります
皆様の声をお寄せ下さい

知恵を
出し合おう！

「神戸市で中学校の部活動が廃止される」

特にこれから進学予定のお子さんやお孫さんがいるご家庭では、衝撃が走ったニュースだったのではないかと思います。

「部活動の地域移行」は、2018年に文部科学省が「学校における働き方改革」を打ち出し、部活動の負担軽減が議論され始めたことが出発点です。これを受けて2022年、神戸市でも教育委員会に「部活動の地域移行のあり方検討委員会」が設置され、平日を含むすべての部活動を2026年度9月から地域に移行する方針が発表されました。

こうした流れの背景には、長年にわたる教育現場の課題や社会状況の変化が深く関わっています。その最大の要因が、少子化による生徒数の減少です。

現在神戸市内では学校規模の縮小や統廃合が進み、部活動の「自然消滅」が続いています。今や神戸市内では、全ての中学校で同じ種類の部活動が提供されているわけではありません。例えば、サッカー部やバスケットボール部に憧れて入学した生徒が、自分の通う学校にその部活が存在しないこともあります。美術部や吹奏楽部を希望しても、家庭科部しか選択肢がない学校もあります。

学校間の格差も顕著で、別の学校では部活動が充実しているのに、たまたま自分の住んでいる校区の生徒数が少ないという、運不運によって子どもたちの経験に大きな差も生じています。

神戸市はこの現状を放置するのではなく、市内全体でスポーツや文化活動の受け皿を整備し、どの学校に通う生徒でも自分のやりたい活動に参加できる環境を整えることを目指しました。部活動の消滅を座して待つだけでなく、先手を打って新たな仕組みを構築することで、子どもたちに充実した放課後や休日の過ごし方の選択肢を提供しようとした。それが「コベカツ (KOBE◆KATSU)」です。

コベカツは、学校単位での部活動に代わり、地域のスポーツ団体や文化活動クラブを活用し、校区の枠を超えた多様な活動への参加を可能にする仕組みです。これにより、子どもたちは自分の興味や関心に応じた活動を選べるだけでなく、放課後や休日に地域社会とつながる機会が増えます。

今後、保護者や市民には、地域クラブの指導者や運営者としての参画が期待されます。スポーツや芸術の経験を持つ大人たちがボランティアや有償スタッフとして関わることで、子どもたちに質の高い指導を提供できます。また保護者には、子どもの興味やニーズを把握し、適切なクラブを選ぶサポート力とともに、地域移行という変化を受け入れ、新しい活動の場を子どもと共に探す柔軟性も求められることになります。

部活動の地域移行が成功するかどうかは、地域の「受け皿」の充実にかかっています。逆を言えば、この受け皿をしっかりと、行政と地域が協力して整備することが出来なければ、放課後に行き場のない生徒が街中にたむろしたり、家でゲーム漬けになって貴重な青春を無駄にってしまう可能性だってあります。受け皿の確保はコベカツの成功にとって、まさに核心です。



少子化の影響で部活動が成り立たない
学校が増加しています



青春の代名詞でもある部活動
行政と地域の連携で存続を

また、参加費や交通費といった「コスト」の問題も無視できません。学校の部活動は基本的に無料でしたが、地域クラブに移行すると、指導料や施設利用料が発生する可能性があります。校区外の活動に参加する場合、交通費や移動時間の負担も生じます。これらのコストが保護者にとって障壁となったり、家庭の経済力によって部活動を断念せざるを得ない生徒が生じたりしないよう、市として補助金や支援策等を検討する必要があります。

年頃のお子様がおられるご家庭にとっては、期待より不安の方が大きいと思います。私達神戸市会も、こうした課題に対する意見を積極的に発信し、行政との議論を通じて現実的な解決策を見出していきたいと思っています。皆様の声をお寄せ下さい。



子ども達の笑顔をまもる神戸のまちづくりを推進！

神戸市会議員 区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20
TEL : 090-9259-1555 / FAX : 078-330-2335

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayu.ji.net
www.okadayu.ji.net

